

もりっこ

第16号

通信

【理事長挨拶】『講演会のご依頼が増えてきました』

群馬県内の学童保育・学童クラブなどから「自然体験活動をする事の意義」について話してほしいとご依頼をいただき、数回出かけてきました。体験活動をすることでどんな良いことがあるのか、関心が高まっているのだと感じています。事業の会場としてお借りしている「国立赤城青少年交流の家」を運営する「独立行政法人 国立青少年教育振興機構」には、過去に研究・調査を実施した『青少年の体験活動等と自立に関する実態調査』というものがあります。体験活動が豊かな子どもの主な特徴として、『積極性などの「自立的行動習慣」が身につくやすい』『自己肯定感が高い傾向』『困っている人がいた時に手助けできる』『分からないことを自ら調べる』という傾向があるそうです。たくさんの体験から、子どもたちはいろんなことを感じ取り、学び、生活に生かせるようになるということです。子どものうちから、様々な体験をさせてあげたいものですね。 理事長 櫛島隼人



◆10/3 (火) 子どもの体験活動リスクマネジメント基礎講座

プラムネット株式会社が主催する「体験活動セーフティーリーダー（ASL）資格認定講座」を受講してきました。体験活動の重要性や可能性、価値が様々な形で取り上げられるようになってきて、地域では様々な活動が始まってきています。そんな今だからこそ「安全」「危険」をきちんと理解して活動できる指導者・団体が増えていくことが大切だと思います。「あかぎの森のようちえん」には多くのボランティアスタッフが関わってくれていますが、改めて「スタッフトレーニング」が大切だと感じました。参加してくれる子どもたちや保護者の皆さん、スタッフも含め、価値のある時間を過ごすために。 (めで島)



◆11/13 (月) 高崎市学童保育連絡協議会 研修会

高崎市内にある学童保育の関係者を対象とした研修会で講師を務めてきました。お題は「自然体験活動から自主性や社会性を育てる」でした。学童保育でも様々な取り組みが始まってきているようで「体験活動を取り入れていきたい!」という声が多く聞こえてきます。主催の方は「体験活動をする事の意味」をもっと知ってもらうことで、取り組むキッカケを増やしていきたいとお声掛けくださいました。日々、子どもたちの体験の場を作る自分たちが「活動の意義」を話すことで子どもたちに体験の機会が増えることを願います。(めで島)



◆11/16 (木) 家庭教育・子育て支援担当者及び親学習プログラム指導者フォローアップ研修

栃木県内で「子育て支援」「親支援」に取り組む保育者などの関係者が集う研修会で、「効果的なアイスブレイクの活用」について、実際の体験と講義を担当させていただきました。初めて会う親子に話しかけたり話を聞く機会が多い皆さんと、関係を築けるまでにどんなことに気を付けていけば良いかを考えました。講義のあとにはグループワークもあり、そこでも支援者としての悩み・手ごたえを話し、情報交換を行いました。参加された方も初対面が多く、アイスブレイクの効果を実感してもらえたようです。これから出会う多くの親子のために活用してもらえたら幸いです。(めで島)



◆11/28 (火) 学童クラブ支援員研修会 「児童クラブの遊びと実践について」

前橋市内の「児童クラブ」に勤める指導員の方を対象とした研修会で、レクリエーションゲームを活用した遊びの実践について指導をさせていただきました。日々子どもたちと関わり育ちを支える皆さんに「子どもの成長」とは何かを交えてお話をさせていただきました。学童期の子どもたちにとって、多くの人と関わることにはどんな意味があるのか、コミュニケーションを主体としたゲームから多くのことを感じ取っていただけたと思います。実践するためには練習や対象者理解などさらに多くの学びが必要かもしれませんが、子どもたちとさらに楽しい時間を過ごすためのキッカケとなれていたら嬉しいです。(めで島)



【森のようちえん事業報告】

①プログラム提供事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

◆森のようちえん・森のほいくえん

主に前橋市内の幼稚園・保育園を対象にプログラムを提供

10月～12月 20件 参加延べ人数 489人

②指導者派遣（10月～12月）

【関係団体の講習会、研修会などへの派遣】

◆出展、レクリエーション指導、等）

教育事務所研修事業、学童クラブ研修会講師

地域イベント運営、セミナー講師

他NPO・自然学校へ指導者派遣など 24件

③主催事業（6件）

・森のようちえん～ほんわか～（年少～年長の子どもとその親）

10/15（日）12組 30人

12/2（土）11組 34人 計64人

・もりっこ（年長～小2の子ども）

11/11（土）20人

12/17（日）15人 計35人

・あかぎぐんぐんキャンプ

②10/7（土）～10/8（日）20人

③11/4（土）～11/5（日）11人 計31人

参加者総数 130人 ボランティアスタッフ 延べ61人

【あかぎぐんぐんキャンプ】

10/7（土）～8（日）、11/3（土）～4（日）に第2回、第3回あかぎぐんぐんキャンプが行われ、総勢31人の子どもたちが参加してくれました。

第2回の目玉は秘密基地作り。計画を立て、大人が思いつかないような発想で秘密基地を作り出しました。第3回は初となる焼きまんじゅうづくり&星空観察。寒い中で作った焼きまんじゅうはみんな上手に焼けました。残念ながら星空は見えず、代わりに満天の夜景を見に行きました。第4回もみんなと楽しみたいです。（小林）



第4回は3/25（土）～26（日）に実施予定です。

【地域活動の支援】ママズメイドマルシェ

◆11/24（金）12/22（金）

キッズスマイルプロジェクトが実施した『ママズメイドマルシェ』というイベントの運営補助をしてきました。ハンドメイドの作品販売や生活に役立ちプチ講座、子育て講座など、ママたちが社会参加するためのキッカケとするため、またママ同士のコミュニティを作り子育てやいろいろな情報を交換する場、育児の悩みを少しでも解決して楽しめるキッカケの場になれば、という想いで企画されました。毎月スマーク伊勢崎で実施していく予定なので、ぜひご参加ください。



（ぬで島）

【賛助会員・寄付のお願い】

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくりまします』の趣旨に賛同して下さる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ～～ 詳細は、事務局までお問合せください。 担当：櫛島

【ボランティア大募集！】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。

平日、週末と活動しております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。 Mail : info@akagi-moriyou.com 担当：櫛島（ぬでじま）

ご意見やご質問等ありましたら、事務局までお願いいたします。

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん
代表 櫛島 隼人（ぬでじま はやと）
090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com
〒371-0805 前橋市南町4-37-1 アルファビル南町
<ホームページ> <http://akagi-moriyou.com>
～～～【あかぎの森】で検索！～～～



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください！